

## 人権週間の取組

11月21日～12月8日まで月北小の人権週間でした。(全国12月4日～10日世界人権デー12月10日)

「人権」とは、「一人ひとりが幸せに生きる」権利のことです。この権利をお互いに守り大切にすることが人権の尊重です。

人権週間では、人権を尊重するために、どんなことに気を付ければいいのかを様々な活動を通して考えました。

### ～人権教室～

人権週間のスタートに人権擁護委員の方に人権教室を行っていただきました。人権の意味についてのお話をしていただいた後、低学年は「ぼくのきもち きみのきもち」高学年は「よーいドン」というお話を視聴しました。最後に金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」を、手話を付けてみんなで歌いました。



### ～道徳の授業～

人権週間の期間中に道徳でも人権について学びました。

### ～人権講話～

朝礼で人権講話を行いました。人の話をしっかり聞くことや進んであいさつをすることなど、人間関係づくりで大切なことを話しました。

### ～人権標語～

人権講話の後、人権標語を考えました。人権についての自分の考えを標語にして表しました。いくつか紹介します。

- ありがとう その言葉でみんなうれしい (1年)
- 友達と仲良く遊ぶぞ 楽しいな (2年)
- 人々を見た目で判断しないでね (3年)
- 男女とも差別をしない いじめもね (4年)
- だいじょうぶ そのひと言ですくわれる (5年)
- その言葉 本当にいいの考えよう (6年)

### ～ハッピースマイル集会～

本部委員による「ぼくの弟は機械の鼻」の読み聞かせがありました。障害がある弟への自分の思いや行いを振り返り、大事なことに気付くというお話でした。

その後、お家の人からの「輝きの言葉」が渡され、その場で読みました。子どもたちにとっても嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。感激のあまり、涙を流す子もいました。心のこもったメッセージ大変ありがとうございました。



### ～人権作文発表会～

人権作文は、人権教室で視聴したお話の感想を書きました。友達を大切にすることや協力することの大切さを各学年の代表者が発表しました。

#### 「よーいドン！」を見て

4年 小野 凜空

ぼくが心に残ったのは、転んだけど立って走り出したことです。なぜかというとなんかスッキリしたからです。スッキリというのは、あきらめずに走れたことや最後まで走りきったところです。

ぼくも運動会では、だるま運びでだるまを落とすけど、あきらめずに最後までできてよかったです。負けたけど最後まで楽しくできてよかったです。

協力すると一人ではできないこともできるようになるということが分かりました。これからも人と協力したいと思いました。

